

三豊市教育大綱（案）パブリックコメントにおける提出意見及び市回答

番号	意見要旨	回答
1	<p>【全体】</p> <p>この案を作った人は日本をどうしたいのですか。施策案、重点項目を細かく読んでいくうちに日本が日本でなくなると感じました。この教育大綱には、日本の歴史、文化、伝統を破壊する内容が埋め込まれています。歴史を改ざんした団体の圧力でできた「アイヌ新法」、無い差別をあるようにでっち上げた団体の圧力で作られた「LGBT法」と全く同じです。この教育大綱は日本を滅ぼす教育大綱なので強く反対します。</p>	<p>三豊市教育大綱は、教育基本法に規定する基本的な方針として、また、教育振興基本計画に沿って作成しています。教育大綱を策定するにあたっては、三豊市民を対象にした人権・同和問題についての意識調査の結果を踏まえて、教育振興基本計画の5つの基本的方針のうち「グローバル人材育成」及び「共生社会の実現に向けた教育」をもとに基本目標や重点項目を定めました。この教育大綱は、ご指摘にあるような内容ではなく、教育基本法の理念にも合致する内容と考えています。</p>
2	<p>【基本目標5】一人ひとりの多様性と人権が尊重される地域・まちづくり</p> <p>「グローバル社会、ジェンダーレス社会を受け入れ」とありますが、三豊市は受け入れられる側の認識なのですか？そうではいけないと思います。</p> <p>何でもすぐアクセス出来る今の若者はとても理解が早く柔軟です。今はこうだよねと、その上でどの様に人権が尊重される地域・まちづくりを計画するのかを表明して頂きたいです。多様性の単語の使い方が少し気になります。</p>	<p>三豊市教育大綱は、教育振興基本計画に沿って作成しています。三豊市民を対象にした人権・同和問題についての意識調査の結果を踏まえて、教育振興基本計画の5つの基本的方針のうち「グローバル人材育成」及び「共生社会の実現に向けた教育」を推進する必要があるとの認識に立ち、グローバル社会やジェンダーレス社会における国籍等の多様性や一人ひとりの個性が受け入れられる市民からなる地域社会を創造するために、重点項目を設けて人権教育に取り組むこととしました。</p>
3	<p>【基本目標4】絆を強め、学校・家庭・地域が連携して取り組む子どもたちの健全育成</p> <p>仁尾町も少子化の影響で小学生が自治会からいなくなり、他の地区の子どもたちを自宅前で見送っていました。朝の元気な挨拶と近況を聞くことにより、子どもたちの生の成長を見届け、私も元気をもらっていました。</p> <p>ところが令和5年4月からその子たちもいなくなり、今度は中学生を見送っています。まず子どもたちの名前を覚え、声掛けします。必ず子どもたちには挨拶をして、言葉が返ってきます。とても気持ちのいい朝の時間です。顔を覚えると、どこで会っても声掛けできます。人との繋がりが人間の成長を助け合えます。</p> <p>少子化対策としての学校統合には反対します。</p> <p>こども園で大きくなった子どもたちが、他の地区の子と一緒に通学するのは精神的にも酷です。何より仁尾町から子どもの声が消えてしまうのは老人の生きがいを無くし、笑顔が消えてしまいます。</p> <p>子どもは地域の宝です。核家族化して孫と住んでいない人も多いと思います。せめて近所の子どもの成長を見る幸せは持続したいものです。</p> <p>また、昨今の大地震や災害が多発している中、避難所としての役割も大きいと思います。閉鎖された学校は維持管理が出来ず活用が見込めません。地元の小中学校はぜひ存続してほしいと切に望みます。</p>	<p>子どもたちの健全育成については、地域において安全・安心に成長できるよう、学校・家庭・地域や各種団体等が連携して見守り、防犯体制の強化に取り組めます。また、子どもたちは地域の人たちとの関わりを通じて家庭や学校では学べないものを身に付け成長していくものと考えております。子どもたちを取り巻く環境が変化していく中でも、重点項目にも挙げております「地域の中で、子どもたちや保護者が気軽に立ち寄り、様々な人との関わりを通じて自分の居場所と感じられる場所づくりを推進」して取り組むこととしています。</p> <p>また、学校の統合については、三豊市立学校再編整備基本方針に沿って、検討してまいります。</p>

三豊市教育大綱（案）パブリックコメントにおける提出意見及び市回答

番号	意見要旨	回答
4	<p>【主要施策2】自ら学び、思考力・判断力・表現力を高め、生きる力を培う教育の充実 【主要施策5】一人ひとりの多様性と人権が尊重される地域・まちづくり</p> <p>産業革命以降、均質で上質な労働者を育てることを目的とした教育が日本でも行われて来たと思います。子ども達をルールや枠に押し込み、組織に従順な協調性のある子どもをたくさん育ててきた結果、子どもが自ら学ぶ機会や個性の芽を摘み取ってきたことは、今の日本の様々な社会問題から垣間見えると感じています。日本では人口が減少し、物が売れなくなる時代の中で、今後は自ら学び、繋がり、発見・創造・課題解決していくような力が益々求められていくと考えています。</p> <p>私も子育てをしている1人ですが、残念ながら、まだまだ学校や地域では「以前からそうしてきたから」という理由で「ルールを守るべき」という雰囲気があったり、学校の掲げる理想の生徒像に近づけないことは「悪」であり「正さなければならない」という考え方の先生・大人がいるようにも感じます。そのような私たち大人の認識を変えることなく、「1人1人の個性や違いを認め尊重する教育」は実現するのでしょうか。</p> <p>私の子どもは、地域の小学校のスタイルがあまり肌に合わず「学校に行きたくない。いつか命を絶つかもしれない」と言いました。恥ずかしながら、私たち保護者も、我が子の特性にしっかり向き合えていなかったと反省しました。学校や家庭で「できない」ことを度々怒られた結果、自己肯定感が下がり心が限界まで達していたのだと思います。そこから様々な機関に相談に行ったり、学校の先生にも協力をお願いして、少しずつ元気にはなってきましたが、一度追い詰められたり、明らかに課題を抱えている子に対してしかこういった配慮をしていただけないことに、危機感も感じます。</p> <p>いわゆる「知的障害」「発達障害」と診断されているような子ども達だけでなく、1人1人が全く別の個性や特性を持っています。本来の教育は、それぞれの子どもの個性・特性を発揮し、学びを深められるよう見守っていくことのように思います。全ての子ども達が「生まれたその時から」この権利を保障される社会になってほしいと考えます。</p> <p>私たち大人は子どもに比べて圧倒的に権力があることを自覚し、その権力で子どもの力を奪ってしまっていないか常に振り返る必要があると思います。また「一人ひとりの多様性と人権が尊重される」社会がどういうことかを、子ども達を交えて対話し検証し続ける必要があると考えます。</p>	<p>これからの変化の激しい社会を生きる子どもたちにとって、生涯を通じて自らを磨き、高めていくことが一層重要になります。そのために学校は児童生徒一人ひとりが自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながらさまざまな社会的な変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓くことができるようにすることが求められています。</p> <p>学校では、人権意識を高め課題を解決する意欲等を育てる教育や自己肯定感を高めさせ他者に共感できる子どもの育成に努めています。学校の人権学習では、人権教育教材集を活用して、教師と児童生徒がそれぞれの課題や考えを出し合うことで共感を生む対話型授業に取り組み、さらに保護者参観などを通して保護者、教師及び児童生徒がお互いの思いや考えを話し合うことで一人の人間として認め合える人権学習を継続して実践しています。</p> <p>また、子ども主体の授業づくりを進めるため、ICTを活用し、個々の特性、学習進度に沿った学習を行ったり、クラスメイトや異学年との交流を通して、自分と異なる考えに気づき、よりよい学びを生み出したりできるよう工夫・改善を行っています。</p> <p>そして、一人ひとりが「学校が楽しい」と感じられるよう、各学校では教育活動を工夫し、子どもたちが互いのよさを認め伸ばす「絆づくり」に取り組むと同時に、子どもたち一人ひとりが抱える課題を早期発見し、解決に向けて複数で対応するなど教師もチームとなって取り組んでいます。今後もすべての児童生徒が安心して通える学校づくりを進めてまいります。</p>
5	<p>【主要施策4】絆を強め、学校・家庭・地域が連携して取り組む子どもたちの健全育成</p> <p>安全管理や個人情報保護の観点から、昔に比べて学校が閉鎖的になっているように感じますので、開かれた学校づくりを進めて行ってほしいと感じます。また、全ての大人が、地域の子供達とは地域で見守るという視点を持つことが大切だと思うので、そういった普及啓発もお願いしたいです。</p> <p>子どもは、様々な大人、様々な価値観に触れることで、学びや人間性が広がっていくと思います。</p> <p>三豊市でも、千代田区立麹町中学校や、神奈川県横浜創英中学・高校、大阪市立大空小学校のように、新しい取組を進める学校ができることを心待ちにしています。</p>	<p>未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校と地域が一体となって子どもたちの成長を支えていくことが必要です。三豊市では、全ての学校においてコミュニティスクールを導入し、学校運営協議会を核とした取組を進めています。ここでは、学校に対する具体的な支援策や地域の特色を生かした教育活動について協議を行い、子どもたちのために何ができるかを、学校・家庭・地域それぞれの立場から話し合い、活動しています。</p> <p>今後さらに家庭や地域と連携・協働した学校活動を展開し、特色ある学校づくりを進め、「地域とともにある学校づくり」を実現していきたいと考えます。</p>